

拠出金名:地球環境ファシリティー拠出金

| | | | | | |
|---|--|--------------|--------------------------|----------|--------------|
| 国際機関等名 | (国際復興開発銀行)地球環境ファシリティー (英文名称・略称) Global Environment Facility (GEF) | | | | |
| 種 別 | 国連(事務局) | 国連(基金・計画) | 国連専門機関 | その他 | |
| 所管官庁担当局課名 | 財務省国際局開発機関課 | | | | |
| 最近3年間の我が国支払額及びODA率 | | | | | |
| 単 位 | 邦 貨 (千 円) | 外貨1 (千ドル) | 外貨2 (千) | レ ー ト | ODA率(%) |
| 平成22年度 | 12,094,270 | | | 円建て | 100 |
| 平成21年度 | 8,421,993 | | | 円建て | 100 |
| 平成20年度 | 8,421,993 | | | 円建て | 100 |
| 当該拠出金の目的・用途等 | 地球環境の保全・改善にかかる取組みを支援するためのプロジェクトの実施 | | | | |
| 拠出上位5ヶ国・地域・機関等 (※) | | | 国際機関等の財政 (2010年6月末決算) | | |
| | 国 名 | 金額 (千ドル) | 拠出率 (%) | 当該年度の収入 | 259,799千米ドル |
| 1位 | アメリカ | 575,000 | 16.2 | 当該年度の支出 | 826,503千米ドル |
| 2位 | 日本 | 505,000 | 14.3 | 次年度への繰越 | ▲566,704千米ドル |
| 3位 | ドイツ | 479,080 | 13.5 | 会計検査機関名 | |
| 4位 | 英国 | 328,600 | 9.3 | KPMG LLP | |
| 5位 | フランス | 297,520 | 8.4 | | |
| ※第5次増資(2010年7月～2014年6月)における各国プレッジ額及びプレッジ・シェア | | | | | |
| 当該機関等に対する我が国としての評価 (合理化、機能強化のための改革が行われているか、当該機関等の政策に対する我が国の意見の反映度を含む) | | | | | |
| GEFは開発途上国における地球環境の保全・改善への取組みを支援することを目的とした多国間資金メカニズムの草分け的な存在であり、これまでに世界182カ国、主要な国際機関、NGO、民間セクターが参加する世界的な協力体制として拡がりを持ってきている。支援対象分野は、①気候変動対策、②生物多様性の保護、③国際水域汚染防止、④オゾン層の保護、⑤土地劣化防止、⑥残留性有機汚染物質(POPs)対策の6分野であり、これまで165ヶ国に対し92億ドル超を供与。第5次増資においては、途上国のオーナーシップ向上のためのコーポレートプログラムの改革、民間セクターからの資金動員を高める仕組みの導入、成果ベース管理枠組みの設定等が実施されることとなっており、我が国はこのようなGEFの取組みを評価している。 | | | | | |
| 邦人職員数 | 3 人 | | 当該機関全体の職員数 | 79 人 | |
| うち幹部以上 | うち 0 人 | | 及び邦人職員が占める率 | 3.8 % | |
| 邦人職員が占めている幹部ポスト | | | | | |
| ポストの名称 | | 職 員 氏 名 | | 備 考 | |
| | | | | | |
| 当該機関重要ポストへの邦人職員送り込みについての具体的な計画 | | | | | |
| 特になし(幹部ポストではないが、2008年5月より環境省職員がGEF事務局に出向)。 | | | | | |